

8月号

# がらっぱの里

《発行》

平佐東地区コミュニティ協議会  
0996-29-2056

資源保全組合のご協力で花の種子を各自治会に配りました。関係者の方、有難うございました。

自治会作業になりますが、播種時には皆様のご協力をお願いします。



攪拌作業中



各自治会に分配



同時にアジサイの手入れもしていただきました。

## 夏休みに豆腐を作ろう

8月3日くすもと食品さんのご協力で学童保育「平佐東児童クラブ」の子供たちが、豆腐作りに挑戦しました。



どうやって作るのか興味深々



出来上がり、おいしそう



みんなで「いただきます」



ご馳走さまでした。そして、ありがとうございました。

残念ですが、今年の夏祭りは中止になりました。花火については打ち上げる予定ですが、日時が決まり次第、お知らせします。

# 新企画 平佐東地区の謎を解明せよ

以前からの疑問点で、何故、平佐東地区は平佐地区(つまり、市街地)と同じ地区割になのかというのがありました。古老の方に聞いた話では、「昔から平佐村じゃっでよ」と一言で終わりましたが、どうしても上床山で寸断されているように地政学的にも見えて、疑問に思われます。

そこで、平佐東地区の歴史を解る範囲で遡り、その謎に迫ってみたいと思います。(川内市史上・下巻他)

## ① 先史時代

言わずと知れた『馬立遺跡』が楠元にあります。ここから10,000年以上前の石器が出土しており、かなり昔から人が住んでいたと思われます。

ただし、これから鎌倉時代辺りまで、歴史上の記録がありません。従って、この間は推測になります。

まず、石器時代から縄文・弥生土器時代を経て、邪馬台国、大和朝廷政権、奈良、平安時代と移りますが、南九州地方は熊襲・隼人の時代でした。しだいに大和朝廷に取り込まれていくことが記紀等に出てきます。平佐東地区はというと、近年の発掘調査で楠元城、小ヶ倉城跡から縄文土器等が出土していることを踏まえここでコメ等を作りながら、何代にもわたって先祖が生活していたことがわかります。ちなみに2,000~3,000年前の縄文時代には稲作が始まっていたらしく最近の研究でどんどん遡っているみたいです。

## ② 奈良・平安時代

この時代もさらっと通ります。関係してくることは日本史のおさらいになりますが、薩摩にも国府が置かれ、表面上は中央主権国家に支配されますが、班田収授法等の実施が地元の抵抗が大きく完全ではなく、かえって荘園が増えてしまう(そちらの方が住民に有利な税制になる)ことになり、やがて武士の時代へと移っていくこととなります。この地区ははっきりとはわかりませんが、塔之原郷の国人衆伴信俊の配下の可能性があります。ちなみに796年入来院が倉院として出てきますが、東地区も含まれていると考えられています。

## ③ 鎌倉時代

ここから、関係してくる記録が少しずつ出てきます。

1026年 平季基 日向国諸県郡島津の荘を拝領(関白藤原頼通に寄進)⇒島津の荘の成立

1185年 島津忠久 薩摩・大隅・日向の守護職(ただし、名誉職的で全てを支配したわけではない)

1192年 千葉常胤 北薩地方に増領地されるが、1247年に滅ぼされる。

1248年 渋谷光重 没官御領主(在地領主)  
(北薩地方に入封)  
(長男 相模国渋谷荘拝領)

- 二男 実重(東郷氏)
- 三男 重保(祁答院氏)
- 四男 重茂(鶴田氏)
- 五男 定心(入来院氏)
- 六男 重定(高城氏)

このあたりから平佐東地区は入来院氏の配下に入ります。そして、紆余曲折しながら、太閤豊臣秀吉によりおおきな影響を受けていきますが、紙面がなくなりましたので、それは次回ということでご容赦下さい。

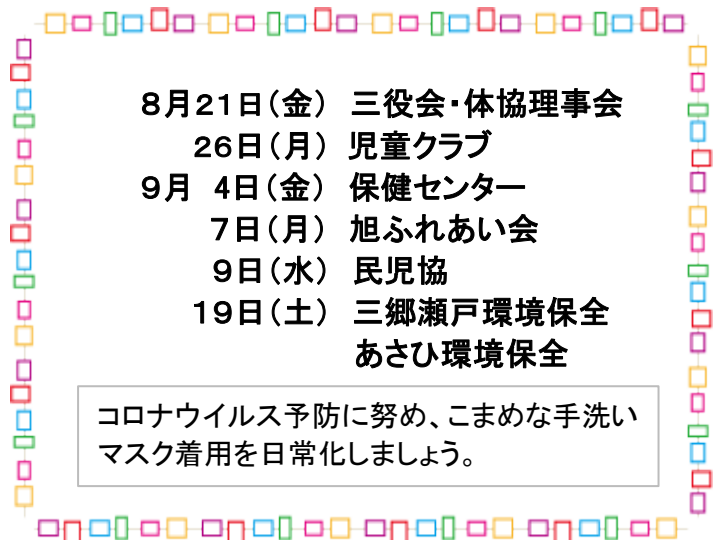
### 1人 片道 300円

なるべく乗り合わせでの、ご利用をお願いします。

予約や利用の仕方など、詳しく聞きたい方は、コミセンまで連絡ください。



平佐東地区  
コミュニティセンター



☆ 9月慰霊碑掃除当番 ・・楠元下自治会

